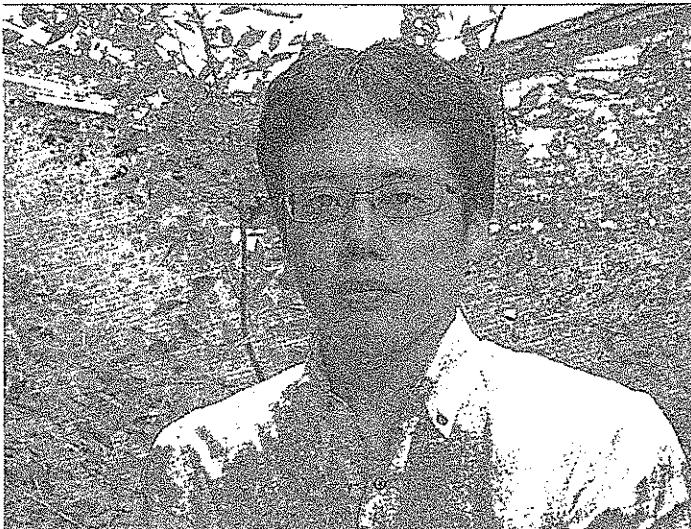


シリーズ 戦争法強行1年で考える

安倍自公政権による安保法制=戦争法の強行と、この立憲主義を撃たる暴挙を受けた日本共産党・志位和夫委員長の「戦争法廃止の国民連合政府」提案から19日で1年になります。いまの

局面をどうみるか。シリーズで聞いていきます。初回は政治学者の白井聰さん（京都精華大学人文学部専任講師）です。

(渡辺健)



しらい・さとし 1977年、東京生まれ。政治学者、思想史家、京都精華大学人文学部専任講師。著書に『永続敗戦論』(石橋滋山著、角川財团学芸賞受賞)、『戦後政治を終わらせる』など。思想家の内田樹氏との対談・共著に『日本戦後史論』『腐國民主主義論』。

（現・日本維新の会）も「改革」ポーズをとっていますが、眞の改革政党の見分け方は。
今世の中の根本的な差

（現・日本維新の会）も「改革」ポーズをとっていますが、眞の改革政党の見分け方は。
今世の中の根本的な差

眞の改革政党は

——市民の運動は就いています。
安倍法制は強行され、南シナ海では「殺」と殺された。現実的な危険性が高まっています。参院選は改憲勢力が2分の2を占めました。疲れはあると思いませんが、私の実感からすると、市町選挙は、皆さんととなっていません。これからどうするんだという方向に向かっています。

参院選の成績のひとつは、野党共闘という枠組みが成立したことです。政党間だけではなく無理だっただらうことが、「野党は共闘」という声が広がり、市民運動の圧力によって32すべての市町区で野党統一候補が実現しました。

政治状況の切迫といつからみれば、いつまでぐすぐしていんただ、といひ立つこともあります。共産党は、よくがまんしましたね。破壊を表す

普通だったり、民進党、社民党、共産党支持者が野党統一候補に入れても勝てない選挙区でも、これまで自民党や公明党に入れてきた人たちをどれだけ巻き込めるか。沖縄の翁長知事が、自民党選舉の中核だった人に新基地建設をめぐら保守の人たちとも手をつけない幅広い共闘ができるようになりました。だから、大きな力が發揮できます。

政治学者、京都精華大学専任講師 白井聰さん

共闘の大きな力

——市町の運動は就いています。

（現・日本維新の会）も「改革」ポーズをとっていますが、眞の改革政党の見分け方は。
今世の中の根本的な差

します。

ところで、東北はどうい。

安倍法制は強行され、南シナ海では「殺」と殺された。現実的な危険性が高まっています。参院選は改憲勢力が2分の2を占めました。疲れはあると思いませんが、私の実感からすると、市町選挙は、皆さんととなっていません。これからどうするんだという方向に向かっています。

参院選の成績のひとつは、野党共闘という枠組みが成立したことです。政党間だけではなく無理だっただらうことが、「野党は共闘」という声が広がり、市民運動の圧力によって32すべての市町区で野党統一候補が実現しました。

政治状況の切迫といつからみれば、いつまでぐすぐしていんただ、といひ立つこともあります。共産党は、よくがまんしましたね。破壊を表す

普通だったり、民進党、社民党、共産党支持者が野党統一候補に入れても勝てない選挙区でも、これまで自民党や公明党に入れてきた人たちをどれだけ巻き込めるか。沖縄の翁長知事が、自民党選舉の中核だった人に新基地建設をめぐら保守の人たちとも手をつけない幅広い共闘ができるようになりました。だから、大きな力が発揮できます。

政治を動かし変える市民革命へ 日本社会の“本当の体力”問われる

——政権への批判が強まっています。

（現・日本維新の会）も「改革」ポーズをとっていますが、眞の改革政党の見分け方は。
今世の中の根本的な差

——政権への批判が強まります。

安倍政権の権力への執念はすごい。野党共闘攻撃、共産党政攻撃もますます激しくなるでしょう。選挙中の「改憲論」など不誠実なごまかしも常套手段です。

ファシズム的な手法にも警戒が必要です。

政治・経済・社会が全般的にうまくいかなくなると、全体的に悪い感情が芽生えがちです。その悪い感情を裏面的に取り除くよう努めをすればならないが、またどうな政策ですが、悪い感情に乗りかからず、貧困と格差の広がりまで政権維持のために悪用しようとすると政治は打ち破らなければなりません。

——そのためには、何が必要ですか。

日本社会の持っている本当の体力が問われます。まつとうな考え方で、まつとうなことをする人たちの方が、悪い流れをはね返せるだけの力を持てるかどうか。その時に、一人ひとりの力ではありません。個別撃破され終わりです。安倍政権あかんよね」という勢力をどれだけ組織化できるかが、ほんとにキー（鍵）

組織化が力ギに

——政権への批判が強まっています。

（現・日本維新の会）も「改革」ポーズをとっていますが、眞の改革政党の見分け方は。
今世の中の根本的な差

——政権への批判が強まります。

安倍政権の権力への執念はすごい。野党共闘攻撃、共産党政攻撃もますます激しくなるでしょう。選挙中の「改憲論」など不誠実なごまかしも常套手段です。

政治・経済・社会が全般的にうまくいかなくなると、全体的に悪い感情が芽生えがちです。その悪い感情を裏面的に取り除くよう努めをすればならないが、またどうな政策ですが、悪い感情に乗りかからず、貧困と格差の広がりまで政権維持のために悪用しようとすると政治は打ち破らなければなりません。

——そのためには、何が必要ですか。

日本社会の持っている本当の体力が問われます。まつとうな考え方で、まつとうなことをする人たちの方が、悪い流れをはね返せるだけの力を持てるかどうか。その時に、一人ひとりの力ではありません。個別撃破され終わりです。安倍政権あかんよね」という勢力をどれだけ組織化できるかが、ほんとにキー（鍵）